◎市立学校の校名について

1 教育環境整備の状況

(1) 統合決定後における保護者説明会、合同学校運営協議会等の開催状況

統合決定後、保護者や地域への説明会を開催するとともに、両地域の学校運営協議会を合同で開催し、情報共有や意見交換を行いました。

ア 保護者や地域への説明会

内 容	開 催 日
田浦地域地域説明会	令和6年2月16日（金） 17日（土）
第1回田浦小学校保護者説明会	令和6年5月11日（土）
第1回長浦小学校保護者説明会	令和6年5月14日（火）
第2回田浦小学校保護者説明会	令和6年7月19日（金）
第2回長浦小学校保護者説明会	令和6年7月29日（月）

イ 合同学校運営協議会

内 容	開 催 日
第1回田浦小・長浦小合同学校運営協議会	令和6年4月16日（火）
第2回田浦小・長浦小合同学校運営協議会	令和6年6月25日（火）
第3回田浦小・長浦小合同学校運営協議会	令和6年7月31日（水）

(2) 統合決定後における取り組み状況

ア 通学の安全について

(ア) 京急バスの通学定期券代の全額助成

【助成対象者】

- ・ 現田浦小学校区の全児童
- ・ 1・2年生及び特別支援学級の保護者の内、付き添いが必要な方

【助成期間】

- ・ 統合後12年間（令和7年度から令和18年度）

(イ) バス停における児童の見守り

バス停に見守りを配置し、児童が安全にバスを待てるようにします。

(ウ) バス車内における対策

バス車内で痴漢等の対策や抑止力のため、児童へ防犯ブザーを配布します。統合初年度以降は、従来どおり入学時に新1年生へ配布します。

(エ) 答申の付言において指摘されている全市的な遠距離通学に対する方策については、別途検討します。

<参考>路線バス (想定)

・登下校の時間帯に特定の区間(北部共済病院一汐入駅)を運行する路線バスを増便。

○登校時

池ノ谷戸 (発)	7時20分	増便 7時30分	増便 7時40分	7時50分
↓	↓	↓	↓	↓
吉倉 (着)	7時27分	7時37分	7時47分	7時57分

○下校時

吉倉 (発)	増便 14時51分	増便 15時1分	15時11分	15時41分	増便 15時51分	増便 16時1分	16時11分
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
池ノ谷戸 (着)	14時57分	15時7分	15時17分	15時47分	15時57分	16時7分	16時17分

イ 教育課程等について

現在、教育課程の調整や行事等について、各学校で検討を行っています。

ウ 事前交流について

各学校の実情に応じて、随時、児童間・学校間の交流等を実施、検討しています。

エ PTA等について

学校、保護者において、順次、調整を行っています。

オ 閉校式等について

学校名の決定後、令和7年3月の閉校式等の実施に向けて、検討、準備を行います。

カ 跡地利用について

財務部が中心となり、地域活動団体等の代表者による協議会等の開催に向けた準備を行います。

キ 学校開放について

跡地利用の運用等が始まるまでの当面の間は、施設の利用ができる見込みです。

2 校名検討について

(1) 経緯

統合後の現長浦小学校の校名については、田浦小学校と長浦小学校の児童、保護者、地域が対等な関係で統合することを念頭におき、両小学校の学校運営協議会を合同（合同学校運営協議会）で開催し、候補となる校名の検討を行いました。

合同学校運営協議会において候補となる校名の検討にあたっては、まず田浦・長浦地域の児童、保護者、地域等に対し、校名候補の募集を行い、225件、43候補の応募をいただきました。

その後、令和6年6月25日に開催した合同学校運営協議会において、応募いただいた候補から今回議案として提出した6候補の校名を決定しました。

(2) 校名候補の募集について

ア 校名募集の概要

(ア) 実施期間

令和6年5月22日～6月18日

(イ) 対象

- ・田浦小学校・長浦小学校に通学している児童・保護者
- ・田浦小学校区・長浦小学校区にお住まいの方 など

(ウ) 応募方法

- ・児童、生徒は学校から配布し、投票箱（学校に設置）にて応募
- ・地域は町内会からの回覧等により周知し、郵送等にて応募
- ・上記のほか電子申請システムでの応募も可能

イ 結果

(ア) 応募数 225 件

紙による応募数 104 件

電子による応募数 121 件

(イ) 校名候補数

43 候補 ※詳細は、別添 1 参照

(ウ) 応募状況

応募者	応募数	比率
田浦小学校の児童	20	9%
田浦小学校の保護者	5	2%
田浦小学校区の住民	12	5%
長浦小学校の児童	76	34%
長浦小学校の保護者	27	12%
長浦小学校区の住民	74	33%
その他	11	5%
総計	225	100%

(3) 合同学校運営協議会での絞り込み

応募のあった 43 候補から合同学校運営協議会で協議の結果、6 候補に絞られました。

ア 校名候補一覧

- ・アダムス (あだむす)
- ・按針 (あんじん)
- ・安針台 (あんじんだい)
- ・田浦 (たうら)
- ・田ノ浦 (たのうら)
- ・長浦 (ながうら)

イ 合同学校運営協議会等での主な意見

- ・両地域が対等な関係で統合するという考えを基にという意味はよく分かります。しかし、校名を変えていくということを今後も続けるのでしょうか。校名が変わると予算もかかることなので、予算がかからないやり方も考えていただきたいです。
- ・校名候補の協議に当たっての視点の5番にある、「両校の児童や地域が親しみやすく、受け入れやすい校名か。」の視点については、大事にしていきたいです。
- ・ペリー来航の江戸末期には、田浦管内全体は長浦村でした。一度両校を廃校にして新しい学校ということで長浦小学校という名前が良いと思います。
- ・長浦、田浦、安針台といった地域の名前から取ると、嬉しい人も気に入らない人もいます。そのため、全く新しい名前にしてしまった方が良いのではないかと思います。この地に根づいて歴史があるようなアダマス、安針といったものが良いと思います。
- ・田浦中学校がありますので、地域外から見ると田浦小学校を残すのが一番スマートなのではないかと思いました。5年後や10年後を見据えて、船越小学校、長浦小学校、田浦小学校を合併する方向で話を進めてくれないかと思っています。
- ・小学校の名前は地名で付けられています。学校が建っている地名である安針台がお互いに一番良いのではないかと考えています。三浦按針に関係する名前は、逸見小学校や沢山小学校の検討がこれから始まる中で、あまり使いたくありません。その地域が校名を検討すれば必ず、按針といった名前が出てくると思います。
- ・田浦小学校の保護者の応募数を見ていただくと5件です。投票数では判断していただきたくないと思っています。
- ・応募数を見ていると、田浦小学校の児童が20しかないということがとても気になっています。委員の方も子どものことを考えて、長浦という名前では何か肩身が狭い思いをするのではないかと心配されていると思いますが、子ども自体はそんなに気にしてないのではないかと思います。数だけで選んではいけないというのは分かりますが、全体的に関心が低く、長浦小学校という名前は絶対に変えてほしいという雰囲気でないのであれば、長浦小学校のままでも良いのではないかと思います。いろいろなところにお金もかかりますし、PTAの立場から言っても名前が変わると仕事が増えます。

- ・田浦の人は、どのような名前だから納得をすとか、喜んで行くというように心境ではないと思います。受け入れる側となくなる側の立場というのは、それぞれの立場になってみないと分かりません。
- ・数ではありませんが、長浦小学校の半分以上の子どもが応募しているという思いも大切にしていきたいです。
- ・数で決めないとのことですが、長浦小学校という意見の応募数が圧倒的に多いことは加味していきたいです。

(4) 校名候補の協議に当たっての視点

	項目
1	一般的な読み方ができなかったり、読み方が何通りもできる校名でないこと。
2	他の地域に類似の校名がなく、誤解されることがないこと。
3	地理、歴史、自然環境など、その学校が持つ特色等に合っているか。
4	校名をつけた理由が明確であるか。
5	両校の児童や地域が親しみやすく、受け入れやすい校名か。

(5) 校名候補

No	校名候補 (よみかた)
1	アダムス (あだむす)
提案理由 (応募理由 含む)	<p>○この地で活躍し名前が残るほどの偉人の名前で、駅名も安針塚のため。横須賀市内で初のカタカナの小学校になり、三浦按針に関係する名前でアピール出来る。</p> <p>○町名等であると平等ではなく、不服がある方もいるため。</p>

No	校名候補 (よみかた)
2	按針 (あんじん)
提案理由 (応募理由 含む)	<p>○安針台にあるから。安針台だと長いから安針 (按針) 小学校。</p> <p>○三浦按針 (ウィリアム アダムス) ゆかりの場所であり、按針の墓で按針祭が行われている。江戸時代から逸見地区、田浦地区まで歴史的にも地域的にも横須賀市民以外にも周知されている按針の名の小学校になったら素敵のため。</p> <p>○地域に根差しており、地元の方々に理解を得られることと、わかりやすさ。</p> <p>○元の校名では、思い入れのある方からの反発がありそうなので完全に新しい名前の方が良い。</p> <p>○田浦小の全校遠足も、毎年安針塚へ行く。田浦にも長浦にも、とても深く関わっているため。</p> <p>○長浦小学校は安針台自治会と共存共栄しているため。</p>

No	校名候補（よみかた）
3	安針台（あんじんたい）
提案理由 （応募理由 含む）	<p>○新たな気持ちで新校名を作った方が良い。他にはない校名で、カッコいい。</p> <p>○学校周辺の地名のため。</p> <p>○三浦安針の墓跡がある塚山公園の麓にあり、三浦安針ゆかりの地であり未来を担う児童達に歴史に深く興味を持って勉学に励んで欲しいため。</p> <p>○安針塚だと学校の名称でお墓(塚)のある名称は似合わないため、住所から「安針台」にしたら良い。</p> <p>○公立学校の校名は、立地場所の地名を反映するのが好ましいと考える。</p> <p>○安針には『水先案内人』（操船を指示する人）という意味があるので新たに進み行くに良いと思いました。</p>

No	校名候補（よみかた）
4	田浦（たうら）
提案理由 （応募理由 含む）	<p>○中学校の名前が「田浦中学校」なので、小学校の名前も「田浦小学校」でいいと思いました。</p>

No	校名候補（よみかた）
5	田ノ浦（たのうら）
提案理由 （応募理由 含む）	<p>○田浦の文字を残したいため。</p> <p>○田浦と長浦の一字ずつ利用することで、それぞれの小学校の歴史を失うことなく統合の意味を示すことができる。また、長浦地域に田ノ浦と呼ばれる地域があることから二つの意味を持てる素敵な校名候補。</p> <p>○田ノ浦のバス停が近くにあるため。</p> <p>○長浦小の敷地に田浦小が来るので、田浦小の田の字を先に持ってきた。</p>

No	校名候補（よみかた）
6	長浦（ながうら）
提案理由 （応募理由 含む）	<p>○長浦の長と、田浦の浦をとって長浦小。田浦の浦という字も入っている。地域の名が入っていることで他の学区の人からも周知しやすいことは大事である。</p> <p>○田浦中学校に進むため田浦と言う校名は残る。小学校は敷地も長浦であるため名前はそのままが良い。</p> <p>○校名が変わるデメリットは多い。校歌や校章の変更も必要となる。校歌は有名な方が作ってくれたので変えるべきではない。また、近隣住人や学校近隣を利用する人は混乱する。校名変更に伴う費用もかかると思うので、その分を子供達の環境整備に使っていただきたい。</p> <p>○長浦という名前は、長浦、田浦両町民から馴染み深く親しまれている。また長浦地区は、町名、駅名、バス停名が異なる珍しい地域である。</p> <p>○長浦小の150年の歴史を大切にして、田浦、長浦2つの地域でこれから歴史を紡いでいけば良い。</p>

※田浦小学校、長浦小学校の通学区域図は、別添2参照